

科目名	相談援助の理論と方法Ⅳ						
Course Name	Social Work Theory and Methods IV						
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡先(質問等)	研究室:栄養棟3階か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間外、会議時間外						
必修/選択	選択(社会福祉士受験資格必修) 原則として、「相談援助の理論と方法Ⅲ」履修者のみ履修可とする						
関連 DP	DP3 DP4 DP5						
授業の概要と到達目標	<p>相談援助技術における対象の理解、スーパービジョン、ケースカンファレンスなどを学習する。上記を学ぶとともに相談援助における事例分析の意義や方法について理解する。将来、相談援助の場面において、本講義で学んだことを活用し、利用者への確かな支援ができるような基礎レベルの技術の定着を目指す。</p> <p>①スーパービジョンの方法と留意点を説明できるようにする。 ②ケースカンファレンスの意義と目的を学び、その展開過程を確認できるようにする。 ③事例研究・事例分析の方法について学び、例証できるようにする。 ④事例のなかで活用されている援助技術や各援助技術の関連を明確にできるようにする。</p>						
授業の方法	基本はテキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とする。ただし、理解を深めるため、グループワーク、ディスカッションを取り入れる。毎回書き込み式の資料を配付するので、ファイリングなど工夫し、復習に利用すること。毎回リアクションペーパーを記入させ、授業の振り返りと知識定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	仮に設定した援助場面で相談援助の知識・技術を活用できる。					
	L03	スーパービジョンの技術を用い、自己成長に努めることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	授業終了後のリアクションペーパーにて理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。						
教科書/参考図書	「相談援助の理論と方法Ⅱ」弘文堂(相談援助の理論と方法Ⅰ・Ⅱで使用したもの)						
履修上の留意点やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、飲食物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求めることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準						
評価の領域	評価基準	学習成果の割合				
		L01	L02	L03	L04	
授業参加態度	履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートを取り、学んでいること。周りに迷惑をかける態度は、減点対象とする。		30			
レポート/作品	以下の点で評価する。評価 S は、実施した計画を客観的に評価し、作成要領を遵守されていること。			10		
発表						
小テスト						
試験	選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。			60		

その他					
		合計		30	70
回数	授業計画				
1	授業内容	ガイダンス(授業の目標と進め方、成績評価の説明、諸注意等)			
	事前・事後学習	事後:シラバスを確認			
2	授業内容	スーパービジョン① スーパービジョンの必要性			
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。			
3	授業内容	スーパービジョン② スーパービジョンの機能と方法			
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。			
4	授業内容	ケースカンファレンス① ケースカンファレンスの概要			
	事前・事後学習	事前:前回の課題をグループで確認しておく。 事後:グループごとに課題を既定の段階まで仕上げておく。			
5	授業内容	ケースカンファレンス② ケースカンファレンスの役割			
	事前・事後学習	事前:前回の課題をグループで確認しておく。 事後:グループごとに課題を既定の段階まで仕上げておく。			
6	授業内容	ケースカンファレンス③ ケースカンファレンスの実際			
	事前・事後学習	事前:前回の課題をグループで確認しておく。 事後:レポート作成。			
7	授業内容	記録①			
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。			
8	授業内容	記録②			
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。			
9	授業内容	相談援助の実際① 事例研究とは			
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。			
10	授業内容	相談援助の実際② アセスメント			
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:居住地域の社会資源を調べる。			
11	授業内容	相談援助の実際・事例研究③ 支援計画の立案			
	事前・事後学習	事前:居住地域の社会資源を調べる 事後:居住地域の社会資源の活用をシュミレーションする。			
12	授業内容	相談援助の実際・事例研究④ モニタリング			
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。			
13	授業内容	個人情報の保護			
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。			
14	授業内容	相談援助におけるITの活用			
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。			
15	授業内容	後期のまとめ			
	事前・事後学習	事前:配布資料を過不足のないよう整理して持参する 事後:試験勉強			